

## お知らせ

### 第12回バイオセーフティシンポジウム開催案内（第2報）

主催：日本バイオセーフティ学会

バイオセーフティシンポジウムテーマ

#### 《バイオセーフティ施設改修工事における注意点について》

#### 開催主旨

近年、30～40年前の当該施設・設備を増改築（一部改修含む）される事案が多くでています。計画打合せ（設計等）を行う際、施主（依頼者）の現在の運用を整理頂くと共に改修後の運用等に就き、利用者・改修者双方が理解と共に承知すべき諸々の事項を紹介する事を目的として企画しました。本シンポジウムでは、総合討論として意見交流ができる時間も設けます。

日本バイオセーフティ学会は、本シンポジウムを含め、バイオセーフティ専門家の技量向上と関連情報の共有などを行い、バイオセーフティ全般の向上を図っていきたいと考えています。

#### 開催内容

1.開催日時：2024年3月14日（木）13：30～17：00

2.開催場所：（一社）予防衛生協会（つくば）

3.開催方式：対面及びWebリモート方式（Zoomシステム）

4.プログラム

13:30～13:40（10分）開会挨拶 篠原克明（信州大学）

座長 井上 智 国立感染症研究所

13:40～14:20（40分）基調講演 「バイオセーフティ施設として必要な事項」

篠原克明（信州大学）

座長 井上 秀 八洲EIテクノロジー株式会社

14:30～15:20（50分）施設設計コンサル視点からの施設改修計画

坂田保司（株式会社 山下PMC）

座長 藤本浩二 (一社) 予防衛生協会

15:30~16:20 (50分) 施設設備における設計者としての取組み (改修事例の紹介)

木場裕介 (日立グローバルライフソリューションズ株式会社)

16:20~16:50 (30分) 総合討論 司会:小暮一俊 NPO バイオメディカルサイエンス研究会

16:50~17:00 (10分) 閉会挨拶 井上智 国立感染症研究所

## 5. 講演概要

### 5-1. 篠原克明先生

現在我が国においては数多くの病原体を取扱う施設が稼働している。それら施設の中には、すでに相当な時間が経過し補修・増改修が必要なもの、あるいは新たな使用目的のために改築や新設が必要なものもあると思われる。

本講演では、病原体取扱い施設に必要な要件の再確認と病原体取扱い時のリスクに応じた施設の在り方について考察を行いたいと考えている。

そのために、まずは病原体取扱い時における作業者の感染リスクを整理し、その対応策について検討する。具体的内容としては、病原体取扱い時の曝露リスクとその対応策、物理的封じ込めの目的、個人用防護具と物理的封じ込めの関連性、使用器具・機材や施設・設備の不具合や使用時に起こりうる潜在的なリスクの認知およびそのリスク低減策や緊急時対応などについて考察する。

### 5-2. 坂田保司先生

改修工事といってもその工事内容は多岐に及ぶ。例えば、法的申請業務を伴わない経年劣化部位の更新(リフォーム)をはじめとして、省エネ化を目指した建築設備の更新や研究内容更新に伴う間仕切りの変更(リニューアル)など小規模なものから、法的申請業務が必要となる「大規模な模様替え(リノベーション)」に定義されるような耐震性能向上のための制震装置の付加や新規実験装置導入に伴う構造増強・設備増設など様々である。

まず、様々な改修工事を整理してその分類を試みる。次に、マンション修繕の事例をもとに一般的な改修工事の周期(修繕サイクル)について紹介し、改修し易い施設計画のあり方(スケルトン+インフィル対応)について考察する。

最後に、バイオセーフティ施設の改修事例を紹介しながら改修工事における注意事項を考察し、施設改修に際して施設設計コンサルが考える対策を紹介する。

### 5-3. 木場裕介先生

設備設計者の立場から、いわゆる新築と改修の事例数を比較してみると、バイオセーフティ施設に関しては、個人的な見解になるが改修の方が圧倒的に多いと考えている。理由としては、「生産、研究の対象は一定ではなく、対象に変化があれば大小の差はあっても必ず改修が必要になる」、「過去と比較するとバイオセーフティ施設が必要とされる生産、研究が広がっている」、「15~20年前に建設された施設の老朽化による改修があり、これらの数も増加傾向にある」等が考えられる。

施設の改修とは大きく次の2つに分類できる。1つは長期間使用による経年劣化部分の改修、そしてもう1つは用途等の使用勝手の変更に伴う改修が挙げられる。

この2つについて具体的な事例をもとに設計者として留意が必要なポイント、厳守しなければな

らないポイント等を提示する。

## 6. 参加費

**会員：3,000円 非会員：8,000円（参考：会員年会費 10,000円）**

請求書、領収書ご入り用の方は、第12回シンポジウム事務局までご連絡ください。

### 6-1. 振込先

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店（ゼロイチキュー店）

口座番号：当座 151869

口座名義：日本バイオセーフティ学会（ニホンバイオセーフティガッカイ）

振込手数料はご負担願います。また、参加者名が分かるようにお振り込み願います。

## 6. 参加申込

事前に所定の参加申込書を用い申込願います（参加申込書は学会ウェブ「お知らせ・第12回バイオセーフティシンポジウム」からダウンロードしてください）。

**申込先**：一般社団法人予防衛生協会内 第12回シンポジウム事務局 柴田宏昭 小野孝浩

Mail：[jbsa-symp@primate.or.jp](mailto:jbsa-symp@primate.or.jp) TEL：029-828-6888 FAX：029-828-6891

**申込期限**：3月7日（木）

## 7. その他

日本バイオセーフティ学会「実験室バイオセーフティガイドライン（第2版）」の販売

販売価格：会員：2,500円/冊 非会員：3,500円/冊

ご希望の方は、第12回シンポジウム事務局までご連絡ください。

**会場案内図**（予防衛生協会） <https://www.primate.or.jp/access>